学校番号	312

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	実用書	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	硬筆レッスン帳　（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小・中学校書写の授業で学んだことを発展させ、早く美しく書くための学習をします。
・社会人になったときに役立つ書式や社会常識も身につけ、普段の生活にも活かせるようになることを目指します。
・身近に飾れる作品を制作することで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させ、速く美しく書く方法について学びましょう。
【思考力、判断力、表現力等】
将来、社会人になったときに役立つ書式、社会常識等を学び、身に付け、普段の生活に活かせるようになることを目指します。
【学びに向かう力、人間性等】
身近に触れる作品を作ることで達成感を味わい、作品を鑑賞することで、幅広い感性・鑑賞力を身に付け、書を愛好する心情を育てます。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解している。 ・創造的な書表現をするために、基礎的な能力を活かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい、捉えている。	主体的に書の表現及び、鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	硬筆の学習	楷書、行書、仮名の字形の整え方を理解し、硬筆を用いた書類の書き方や氏名の書き方などを学ぶ。	a:字形の整え方を理解し、基礎的・基本的な字形、書式の技法を身に付けている。 b:技能の習得に関心を持ち、表現の工夫をしている。 c:硬筆に親しみ、積極的に取り組んでいる。	作品	プリント	振り返りプリント 観察
	実用的な書の学習	筆ペン、小筆を用いて字形や用筆の特徴を理解し、実用的な書(のし袋、葉書のあて名書きなど)の書き方や書式を学ぶ。	a:字形の整え方、用筆の特徴を理解し、基礎的・基本的な字形、書式の技法を身につけている。 b:技能の習得に関心を持ち、表現を工夫している。 c:日常生活の書の効用に関心を持ち、積極的に取り組んでいる。	作品	プリント	振り返りプリント 観察
2学期	工芸的な書の学習	団扇書、刻字など、素材を変えて書表現の幅を広げることに取り組む。	a:各書体の用筆法、素材による表現効果を理解している。 b:紙以外の素材で表現することに関心を持ち、表現を工夫している。 c:工芸的な書に関心を持ち、主体的に取り組んでいる。	作品	プリント	釣り帰りプリント 観察
	年賀状制作	筆ペンによる、年賀状の様々な書式を体験する。 葉書を染色する(マーブリング、ステンシルなど)	a:筆ペンに技術を学び、年賀状の基本的な表現方法を理解している。 b:暮らしの中に書を活かすことを理解し、そのよさや美しさを味わい、自らの意図に基づいて表現を工夫している。 c:日常生活の書の効用に関心を持ち、積極的に取り組んでいる。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

3学期	卒業制作	卒業にあたり、未来への希望を綴った詩や言葉を色紙に書く。	a:作品の意図を明確にするための表現の技能を身につけ表している。 b:作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:書作品に関心を持ち、主体的に制作に取り組んでいる。	作品	プリント	振り返りプリント 観察
	作品鑑賞	校内卒業作品展で相互の作品を鑑賞し批評する。	a:既習分野を振り返り、互いの作品への感想と批評を言語化することにより、知識の深化を図る。 b:互いに鑑賞し批評しあうことによって、表現の意図とその効果への理解を深めている。 c:他者の作品に関心を持ち、主体的に鑑賞に取り組んでいる。	鑑賞レポート	鑑賞レポート	鑑賞レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度